

グローバル人材育成プログラム に参加して

松本 祥輝
Yoshiki MATSUMOTO
物質化学科 3年

1. はじめに

今回私は2017年8月17日～9月4日にかけてサンフランシスコで行われた理工学部グローバル人材育成プログラムに参加しました。このプログラムでは世界で活躍することのできるグローバル人材を育成するための龍谷大学のプログラムでした。主に、行ったことは企業見学とグローバルキャリアセミナー、企業研修でした。その間、最初の3日間はホテルで過ごしそれ以降は各自でホームステイをさせていただきました。

2. 目的

私がこのプログラムに参加した理由は二つあります。一つ目は、就職活動の前に海外の人の考え方や生活を学んでから就職活動に取り組みたいと思ったからです。いま、社会は自国だけでは生きていくことができず世界との連携の上で成り立っています。そこで、就職活動の前に海外のことを知っておくことはとてもためになることだと思いました。二つ目は、英語力の向上です。先ほども述べたように現在国際とのコミュニケーション能力は必要不可欠なものとなっています。そのため、今回のプログラムに参加に向けての準備で英語を勉強し、実際に現地でも実践的な英語を使用することで英語力の向上を図りました。

3. 企業見学

アメリカについてからの数日間は世界でもトップクラスのIT企業に行かせていただきました。残念ながら実際に社内に入ることでできた会社はGoogleだけでしたが、世界を代表する企業での働き方

や考え方などを直接見ることができてとてもいい経験になりました。Googleでは、大人数がひとつのオフィス中で机とパソコンだけで生活しているわけではなく、ほとんどの人に1人ひとつの部屋が用意されてありました。また、勤務時間に制限もなく働きたいときに働いてお腹が空いたりしたら近くに飲食を無料で取りに行くことのできる施設も一定の間隔で設置されていました。そのほかにも、ゲームセンター、ジムなどが設備されていました。今回は一つの企業しか見ることができなかったので一概には言えませんがGoogleのような素晴らしい人材を持つ会社は無理に閉じ込めて働き方を制限するよりもあえて自由で自分の好きな環境で仕事をさせているのかなと思いました。また、こう言う働き方が自由な生き方のアメリカにあっているのかなと思いました。

4. グローバルキャリアセミナー

このセミナーでは現在アメリカで活躍をされている3人の日本人の方の考え方や成功するビジネスの組み立て方などについて教えてもらいました。このような素晴らしい方達のお話を聞くことはほとんどないことなのでホントにたくさんのことを吸収できました。私はいままでどこの国の人やこの地域の人はこの性格でこういう特徴があるというような風に地域でだいたいイメージを決め付けている部分がありました。しかし、この講演会を聞いて地域で決めつけるのではなく個人個人の特徴をしっかりと見極めて把握することが重要なのだなと考え方を改めました。その上で、自分にある他者との違いを成長させ互いに苦手なところを補うことが重要なのだと学びました。この考えはのちにサンフランシスコで生活していく中で地域によっても様々な人がいることがわかったり、他者に認めてもらうために強みを見つけることの重要性がわかりました。

5. ホームステイ

研修に行かせていただいている期間中に私はパロ

アルトという地域で一人暮らしをされているおばあさんの家にホームステイさせていただきました。ホームステイを通じて日本の生活スタイルとの違いや文化の違いを感じました。日本ではすすむという文化がありますがアメリカではあまりいいようには思われていませんでした。いままでは日本の文化しか知らなかったので他文化を実際に味わうことによって比較ができ日本の文化の良さを再確認しアメリカの文化のいいところも発見することができました。

6. 企業研修

6.1 企業概要

今回私が研修させていただいた企業はレストランを専門にリモデルやオフィス家具の製造及び販売などをされている会社です。主に、オフィスの方は日本人で構成され現場で働く方々は様々な国の方がいらっしゃいました。

6.2 研修内容

主に私の行った研修は3つありました。1つ目は、オフィス家具の搬送のお手伝いです。冷蔵庫などのオフィス家具をレストランに持って行き古いものと交換するというものでした。2つ目は、レストランのリモデルの現場の見学です。実際にリモデルをしている現場に行かせていただいて職人の方がどのような作業をしているか見学させていただきました。3つ目は、木材による家具の製造です。これは自分がもともと木材を利用したインテリアに興味があったので企業の方に相談してすることができたものです。しかし、私は初心者なので複雑な加工はできないのでお店の工具をいろいろ使わせていただいて木箱を作りました。

6.3 成果

この研修を通して思ったアメリカと日本の企業の違いは新人だからつきっきりで教えたり、いちいち仕事を与えるということはずらず自分でしたいことを

したらいよいよという雰囲気があることです。最初は社員さんについて行ったり企業の方からすることを与えてくださっていましたが3日目ぐらいから自分の好きなことをしたらいよいよという雰囲気があることです。最初は社員さんについて行ったり企業の方からすることを与えてくださっていましたが3日目ぐらいから自分の好きなことをしたらいよいよのような感じでした。そのため、ただ指示されて動くだけの人材ではやってはいけないということがわかりました。今後ロボットが社会にもっと進出してきたら言われたことをするだけでは仕事がとられてしまいます。そのためにもイメージーションを広げることが今後社会に出るにあたって重要なことなんだと気づきました。また、海外の企業で働く上で痛感されたのはコミュニケーションの重要性です。私は英語があまり得意ではなく会話がなんとかできるというような感じであったので外国の方とうまくコミュニケーションをとることができませんでした。そのため、仕事の効率も悪く自分の考えを主張することも難しかったです。就職をすると外国人の方と接する機会も増えて来ると思うのでその時にまた困ることがないように今のうちから言語を勉強する必要があるなと思いました。

7. おわりに

今回2週間サンフランシスコで過ごす中で改めて日本を客観的に見ることができ良いところと悪いところを見つけることができました。サンフランシスコでは多くの人種力専在するので多くの考え方力辱在します。しかし、日本では変わった考えは拒否されあまりいいように捕らえられません。その結果普通の考えしか思いつくことのできない人が日本には増えてしまっていないかなと感じました。今後は、周りに左右されすぎず自分の考えで生きてイメージーションを広げていくことを意識して生きたいなと思います。